

平成 22 年 10 月 6 日
港湾局賑わい振興課

日本初!

赤レンガ倉庫がユネスコの賞を受賞!

～ユネスコ文化遺産保全のためのアジア太平洋遺産賞～

来年に創建100周年を迎える「赤レンガ倉庫」が、日本国内で初めて「ユネスコ文化遺産保全のためのアジア太平洋遺産賞」の優秀賞を受賞しました。

この賞は、アジア太平洋地域の文化遺産の保全・修復における民間または官民協力を推奨し、事業の成果を称えるために2000年に創設されたものです。文化的建築物や庭園などで、築50年以上、官民共同で保全・修復などの条件を満たすものが対象です。

赤レンガ倉庫は、平成14年にそれまでの倉庫から商業・文化施設としてリニューアルオープンしましたが、再整備に当たっては、「みなとの賑わいと文化を創造する空間」をコンセプトに、商業施設の改修・運営を行う事業者を横浜市が募集し、その結果キリンビール(株)を中心とした事業者が当選し、共同で再整備事業を行ったものです。

現在では年間500万人の来場者を有する横浜市内有数の賑わい施設となっています。



■表彰対象

事業者:横浜市、(株)横浜赤レンガ

運営事業者:(株)横浜赤レンガ

公益財団法人 横浜市芸術文化振
興財団

設計者:(株)新居千秋都市建築設計

構造設計者:(株)TIS&パートナーズ

施工者:竹中・小松建設共同企業体

(株)竹中工務店

※授賞式典は 2011 年に赤レンガ倉庫で行われる
予定です。

詳細は現在調整中です。

■受賞理由 (ユネスコからの受賞通知より要約)

20 世紀を通して日本の産業発展の歴史の生き証人として、横浜に愛されている赤レンガ倉庫は、先見の明あるプロジェクトによって新たな命を吹き込まれました。

9年にわたる入念で繊細な修復作業により、この象徴的な倉庫は、横浜市民が現代的なスタイルの複合施設を楽しみながら、自分たちの街の産業遺産を顧みることのできる、活気に満ちた都市空間として甦りました。

倉庫を生き生きとした商業施設として再利用することは、「歴史的な貿易の拠点」というこの場所の精神を思い起こさせます。創建当時の産業用建築における最先端技術を示していた建物の材料は、きめ細かく復元されています。このプロジェクトは、耐震補強から歴史的な窓の細部に至るまで、極めて優れた一連の技術的手法によって展開されています。あらゆるレベルにおける官民の優れたパートナーシップにより、赤レンガ倉庫は横浜港湾地域における都市再生のきっかけとなったものです。

過去の受賞作品

2007年: ゴールフォートホテル (スリランカ) など

2008年: 古都ヘラート (アフガニスタン) など

2009年: サンギン・ダライ僧院 (モンゴル) など

■赤レンガ倉庫の概要

- ア 所在地 横浜市中区新港一丁目1番
- イ 構造・規模 レンガ組積造地上3階建 延床面積 17,163.49 m²
- ウ 主な施設 1号館(文化施設):ホール(約 400 席)、多目的スペース(約 200 m²×3 室)ほか。
⇒芸術家・一般市民を問わず横浜らしい文化を創出し、文化に触れることのできる場
2号館および1号館1階の一部(商業施設):店舗(50 店舗)
⇒飲食・物販を中心としたエンターテイメント性あふれる賑わいの演出空間

■主な経緯(参考)

明治 40 年	横浜税関の施設として、大蔵省臨時建築部の設計により、2号倉庫着工
明治 41 年	同1号倉庫着工
明治 44 年	2号倉庫竣工
大正 2 年	1号倉庫竣工
大正 12 年	9月1日の関東大震災により、1号倉庫が半壊し、現在の大きさに縮小
昭和 50 年代 ~	取扱量が大きく減少した赤レンガ倉庫の保存・活用方法等の検討を開始
平成元年	倉庫としての用途廃止
平成 3 年 ~	横浜市港湾局が中心となり、有識者等を交えた保存改修検討委員会を設置
平成 4 年 3 月	横浜市が大蔵省から財産取得 (※ 赤レンガ倉庫の土地・建物と、横浜市の保有土地を交換)
平成 5 年	1、2号倉庫に移動式足場を設置する「素屋根(すやね)設置工事」実施
平成 6 ~11 年	1、2号倉庫の構造補強、屋根・外壁・開口部等を改修する「保存工事」実施
平成 11 年 7 月	活用事業について方針決定
平成 11 年 12 月	コンペで2号倉庫事業主体(※ キリンビール(株)、サッポロビール(株)、(株)ニュートキョーなどからなる事業者グループ。平成 12 年 7 月(株)横浜赤レンガを設立)を決定
平成 12 年 9 月 ~ 平成 14 年 3 月	1号倉庫内部改修、供給設備棟整備等、「活用工事」実施 (※ 2号倉庫の内部改修は(株)横浜赤レンガが実施)
平成 13 年 9 ~11 月	横浜トリエンナーレのため、1号倉庫を暫定供用
平成 14 年 4 月 12 日	2号倉庫も含めグランドオープン



[創建時 赤レンガ1号倉庫]



[赤レンガ1号倉庫 保存工事前]



[赤レンガ倉庫 オープン時]

お問い合わせ先

港湾局賑わい振興課 担当課長 小賀野 敏子 Tel 045- 671-2874
株式会社横浜赤レンガ 広報担当 Tel 045- 226-1911